



開學武場

信州大学

今

おかし

いま

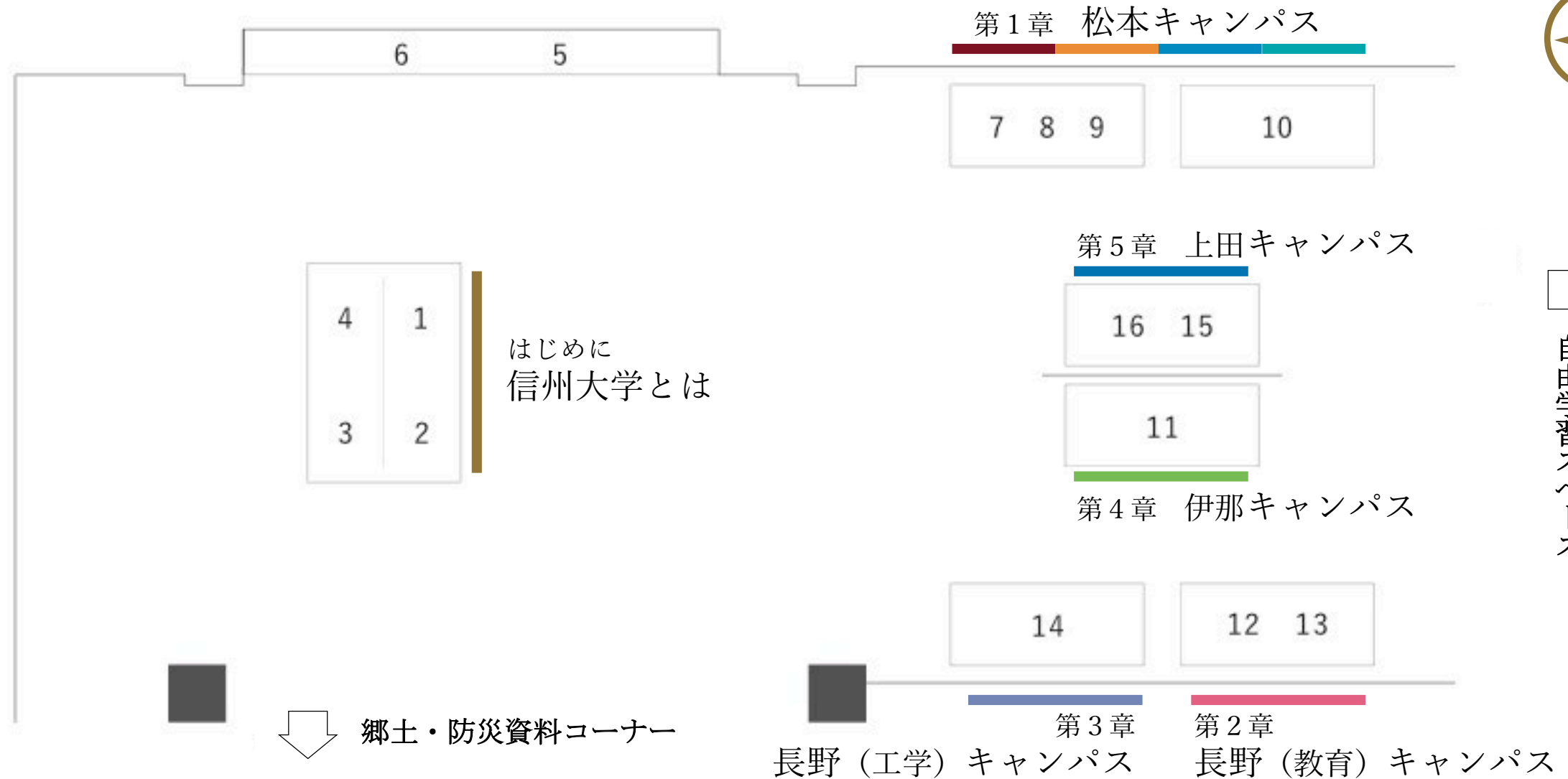
昔

大学史資料センター企画展 Web版

展示構成

- はじめに 信州大学とは p. 3
- 第1章 松本キャンパス p. 8
- 第2章 長野（教育）キャンパス p. 27
- 第3章 長野（工学）キャンパス p. 34
- 第4章 伊那キャンパス p. 40
- 第5章 上田キャンパス p. 48
- 思い出アルバム p.55
- コラム p.57
- 信州大学大学史資料センターについて p.65

展示スペース見取り図 (中央図書館1F展示コーナー：2017年度展示)



自由学習スペース

はじめに 信州大学とは

昭和 24 (1949) 年 6 月 1 日、松本高等学校・松本医科大学・長野師範学校・長野工業専門学校・県立農林専門学校・上田繊維専門学校を母体として、信州大学が誕生しました。本展示では、信州大学の創設に関する資料をはじめ、5つのキャンパスごとに、8つの学部の「沿革」と貴重な「逸品」をご紹介し、信州大学の「昔」から「今」までの歩みをご覧いただきます。

信州大学創設関係資料



1943～1951（昭和18～26）年
大学史資料センター蔵

大学設置に関する書類群。11冊が現存している。文部省に提出する設置認可申請書を作成するための準備書類（下書き、書類様式、文部省通知など）がまとめられている。

松本医科大学長依頼文 「信州大学設置事務局に関する件」

1948（昭和23）年4月7日
大学史資料センター蔵



信州大学設置に向けた実務の開始を示す文書。信州大学設置事務局長である竹内松次郎（松本医科大学長）より、長野県下の高等学校長・専門学校長宛に送付された。同事務局を、局長ほか参与（各学校事務部長・教務部長）、松本医科大学職員により構成することへの同意を求め、該当職員の氏名を通知するよう依頼したもの。

文部省学校教育局長通知 「新制国立大学設置について」

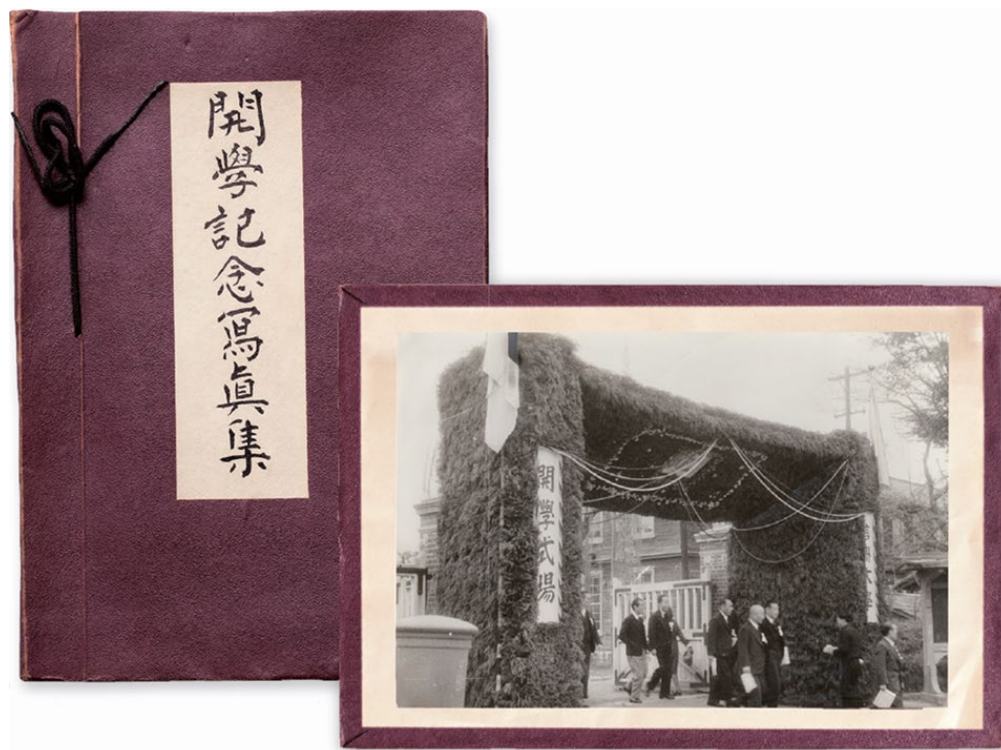
1949（昭和24）年5月31日
大学史資料センター蔵



信州大学設置申請について、大学設置委員会による認可の答申内容を通知したものの。松本市に本部を置くことや、6学部13学科とすることが明記されている。通知の宛先「新州大学」の「新」は誤字。

開学記念写真集

1950 (昭和25) 年 10月
信州大学 蔵



記念式典の様相を伝える『開学記念写真集』には最初に開学式場に入出入りする人々の写真がある。杉の葉が挿されたアーチから、祝賀の高揚感が伝わる。



談笑する竹内前医学部長ら



記念式会場入口



講演会場となった文理学部



初代学長 高橋純一



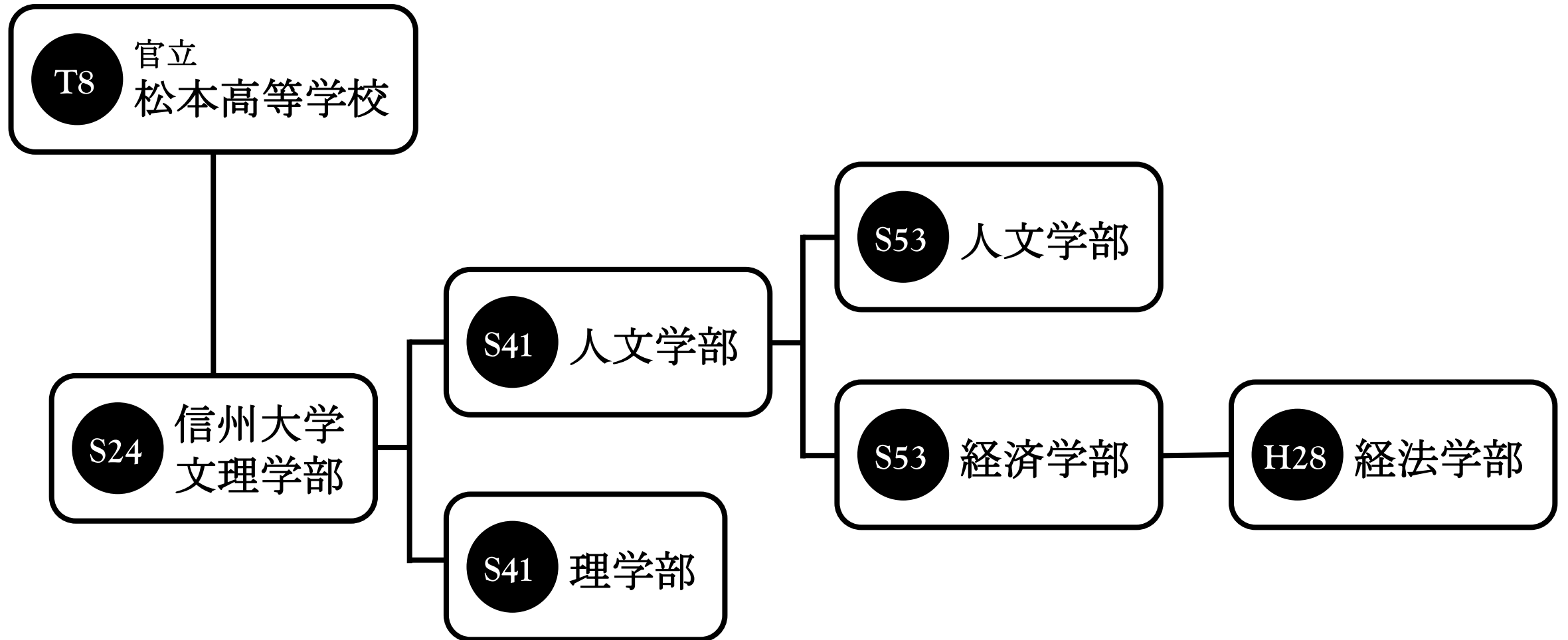
第1章 松本キャンパス

現在、松本キャンパスには、医学部・人文学部・理学部・経法学部があります。この地には、旧陸軍歩兵第五十連隊が置かれていました。1944（昭和19）年、松本医学専門学校が設置され、戦後に連隊跡地に移転しました。その後、松本医科大学を経て、1949（昭和24）年の信州大学設立時に医学部となりました。あがたの森にあった旧制松本高等学校は、信州大学設立時に文理学部となりました。文理学部はあがたの森をキャンパスとし、人文学部と理学部に改組されたのち、現在地に移転しました。1978（昭和53）年、人文学部経済学科は経済学部になり、さらに2016（平成28）年、経法学部となり、現在に至ります。

松本キャンパス



人文・経法・理学部 沿革



人文学部年表

- 1919 (T8) 旧制松本高等学校設立
- 1949 (S24) 信州大学（新制）発足、文理学部設置（人文・社会科学・自然科学の3科）
- 1966 (S41) 人文学部文学科発足、文理学部を人文学部と理学部に改組
- 1973 (S48) 県キャンパスから旭町キャンパスへ移転
- 1978 (S53) 人文学部を人文学部と経済学部へ改組
- 1982 (S57) 大学院人文科学研究科（修士課程）設置
- 1992 (H4) 大講座制へ改組（16小講座から5大講座へ）
- 1995 (H7) 人文学科を人間情報学科・文化コミュニケーション学科へ改組
- 2013 (H25) 2学科（人間情報学科・文化コミュニケーション学科）から1学科（人文科学科）へ改組

経法学部年表 ①

- 1919 (T8) 旧制松本高等学校設立
- 1949 (S24) 信州大学（新制）発足、文理学部設置（人文・社会科学・自然科学の3科）
- 1966 (S41) 人文学部経済学科設置
- 1978 (S53) 人文学部を人文学部と経済学部へ改組
- 1981 (S56) コース制カリキュラム導入
- 1984 (S59) 学年制カリキュラム導入
- 1989 (H1) 社会人大学院、経済・社会政策科学研究科設置
- 1993 (H5) 4大講座から6大講座へ改組
- 1995 (H7) 経済システム法学科を設置して2学科制となる

経法学部 年表 ②

1999
(H11)

新校舎完成、創設20周年記念行事

2002
(H14)

大学院長野サテライト開始

2003
(H15)

大学院開設

(経済・社会政策科学研究科、イノベーションマネジメント専攻設置、
地域社会イニシアティブコース)

2005
(H17)

法科大学院設置 (平成29年3月廃止、ならびに信州大学法務学習支援室設置)

2016
(H28)

経法学部設置 (応用経済学科・総合法律学科)

理学部 年表 ①

1919
(T8)

旧制松本高等学校設立

1949
(S24)

信州大学（新制）発足、文理学部設置

1965
(S40)

附属臨湖実験所設置

1966
(S41)

文理学部を人文学部と理学部に改組（数学科・物理学科・化学科・地質学科）

1970
(S45)

理学専攻科設置（数学、物理学、化学、地質学）

1975
(S50)

生物学科増設

1976
(S51)

大学院理学研究科（修士課程）設置（数学、物理学、化学、地質学）

1995
(H7)

数理・自然情報科学科、物理科学科、化学科、地質科学科、生物科学科、物質循環学科の6学科に改組

1998
(H10)

- ・ 大学院理学研究科を廃止し、大学院工学系研究科を設置
- ・ 博士前期課程3専攻設置、理学系博士課程設置

理学部 年表 ②

- 2002
(H14) 附属臨湖実験所を山地水環境教育研究センターに改称
- 2005
(H17) 大学院総合工学研究科（博士課程のみ）設置、
工学系研究科博士前期課程を大学院工学系研究科（修士課程）に改称
- 2012
(H24) 大学院工学系研究科を廃止し、大学院理工学研究科（修士課程）設置
- 2015
(H27) 6学科を2学科（数学、理学）7コースに改組
（数理科学、自然情報学、物理学、化学、地球学、生物学、物質循環学）

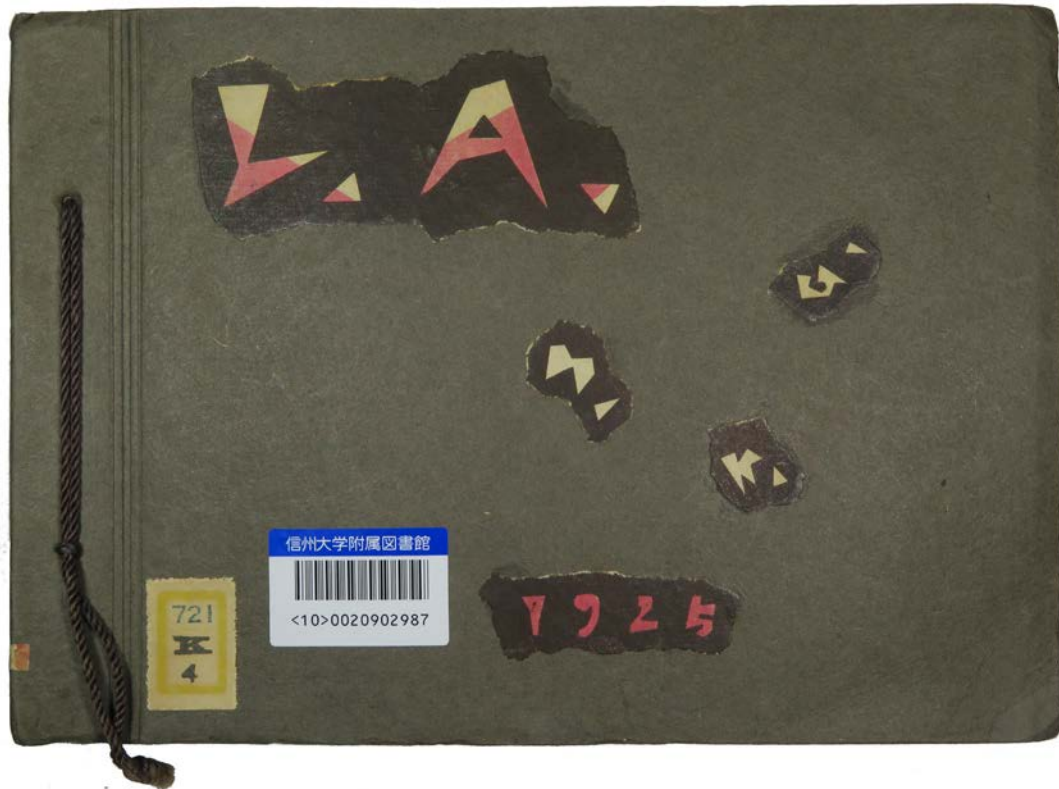
落成記念写真帳



1922（大正11）年
中央図書館蔵

1922（大正11）年、旧制松本高等学校の落成を記念して造られた写真アルバム。関東には、松本中学校（現：松本深志高等学校）の校舎を間借りしていた開校当初からの念願であった校舎新築の喜びが記されている。1枚目には日本アルプスの写真が収められており、信州全体をキャンパスとみなしていたことがうかがえる。

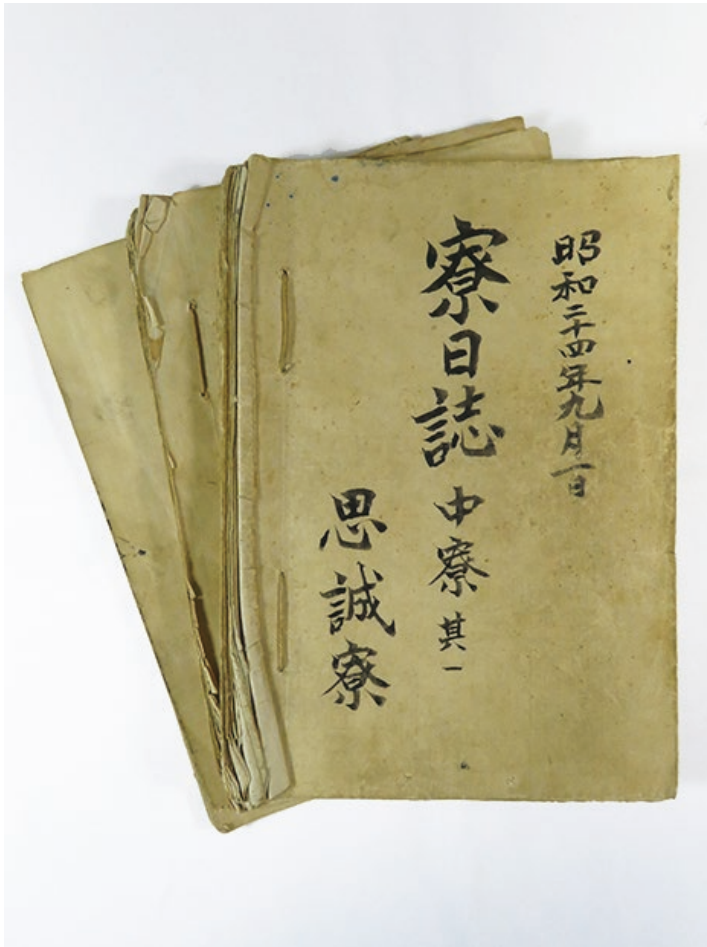
記念帖 大正十四年三月卒業文科甲組



1925（大正14）年
中央図書館 蔵

1925（大正14）年、松本高等学校文科甲組の卒業を記念して作られた写真アルバム。校舎や授業風景をはじめ、寮や部活の様子、松本城・縄手通り・上高地・槍ヶ岳などの写真が収められており、松高生の日常生活がうかがえる。1894（明治27）年創業の白鳥写真館（松本市大手、建物のみ現存）による撮影と思われる。

思誠寮日誌



1949（昭和24）年
人文学部 蔵

旧制松本高等学校から信州大学へと引き継がれた「思誠寮」に暮らした学生たちが、日々書き綴った日誌。巻頭には、「寮記録ニシテ寮史編纂ノ資トナルカラ昭和 icher（独語：確かな）ニ願ヒマス」と、寮史の編纂を見据え、正確な情報を記すよう促す注意書きがみられる。

医学部医学科 沿革

S19

官立
松本医学専門学校

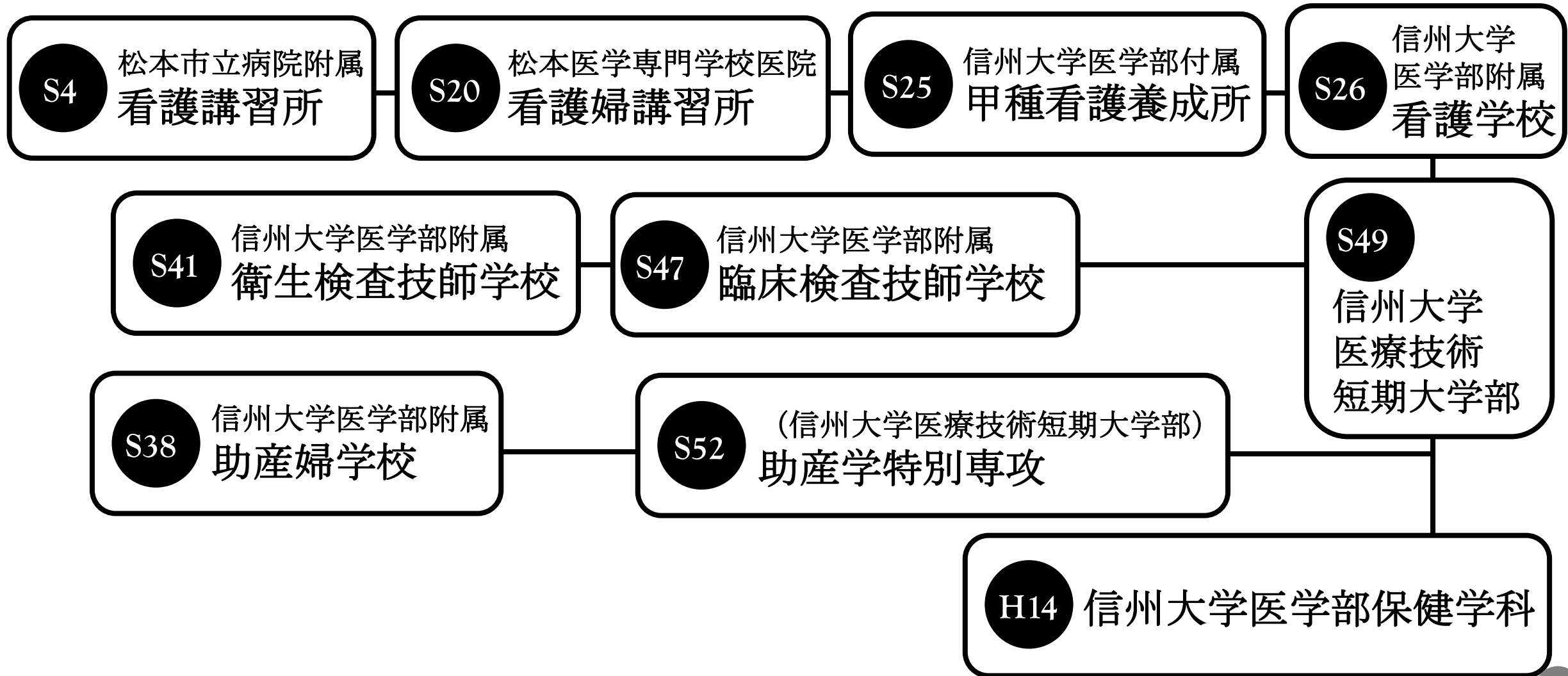
S23

官立
松本医科大学

S24

信州大学医学部医学科

医学部保健学科 沿革



医学部年表①

1929
(S4)

【保】松本市立病院附属看護講習所設置

1944
(S19)

松本医学専門学校設置

【保】松本医学専門学校医院看護婦講習所と改称

1945
(S20)

市立松本病院を松本医学専門学校附属病院として移管

【保】同時に看護婦講習所を移管

1946
(S21)

五十連隊跡地へ移転

1948
(S23)

松本医科大学設置

1949
(S24)

信州大学（新制）発足，医学部設置

1950
(S25)

【保】医学部附属甲種看護婦養成所に改組

1951
(S26)

医学部医学科設置認可

【保】医学部附属看護学校と改称

医学部年表②

1955
(S30)

医学進学課程設置

1958
(S33)

大学院医学研究科（博士課程）設置

1963
(S38)

【保】医学部附属助産婦学校設置

1966
(S41)

【保】医学部附属衛生検査技師学校設置

1972
(S47)

【保】医学部附属臨床検査技師学校に改組

1974
(S49)

【保】医療技術短期大学部設置（看護科、衛生技術科）

1983
(S58)

【保】理学療法学科作業、療法学科

1994
(H6)

医学部附属加齢適応研究センター設置

2002
(H14)

【保】信州大学医学部保健学科に改組

医学部 年表 ③

2005
(H17)

附属病院先端医療推進センター設置

2007
(H19)

大学院医学研究科を大学院医学系研究科と改め保健学専攻（修士課程）設置、
高度救急救命センター設置

2009
(H21)

保健学専攻（博士後期課程）設置、
保健学専攻（修士課程）を同（博士前期課程）に改称

2010
(H22)

小児環境保健疫学研究センター設置

2011
(H23)

メディカルシーズ推進室設置

2012
(H24)

大学院医学系研究科を医科学専攻（修士課程）、医学系専攻（博士課程）、
疾患予防医科学系専攻（独立専攻・博士課程）、
保健学専攻（博士前期課程・博士後期課程）に改組

2013
(H25)

アミロイドーシス研究・診断・治療センター設置

2014
(H26)

「講座」を医学科では「教室」、保健学科では「領域」に改称

2015
(H27)

学部医学教育センターを廃止し、
医学部・医学部附属病院医学教育研修センターを設置

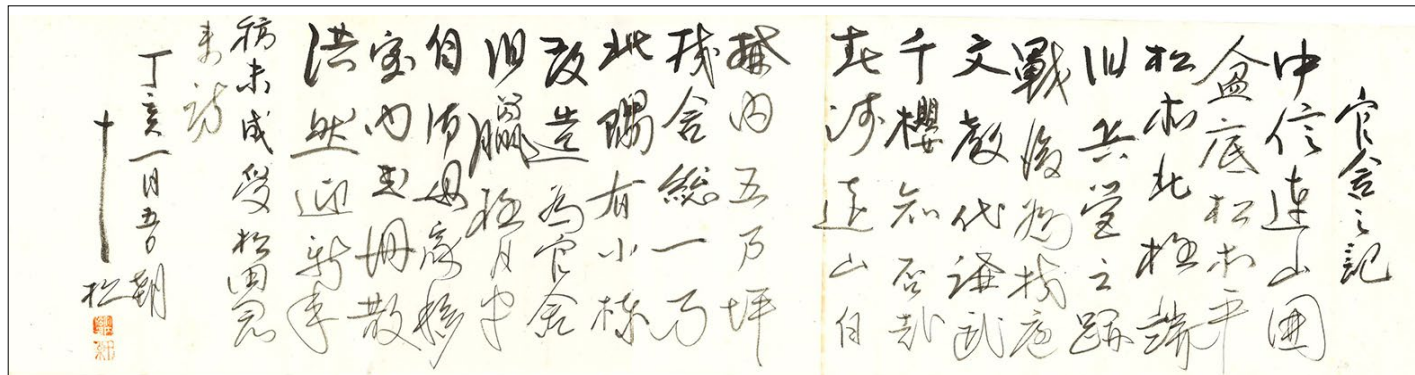
2018
(H30)

- ・大学院医学系研究科の保健学専攻（博士前期課程）を保健学専攻（修士課程）に名称変更
- ・大学院医学系研究科の疾患予防医科学系専攻（独立専攻・博士課程）を廃止
- ・大学院博士課程の「医学系研究科」と「総合理工学系研究科」を統合再編し、「総合医理工学研究科」を設置
- ・大学院医学系研究科の医学系専攻（博士課程）、保健学専攻（博士後期課程）が総合医理工学研究科の医学系専攻（博士課程）、生命医工学専攻（博士課程）に改組

官舎之記

1947（昭和22）年 1月 5日

医学部 蔵



信州大学の設立に尽力し、初代医学部長をつとめた竹内松次郎（雅号：十松）直筆の書。医学部の前身である松本医学専門学校の初代校長として招かれ、構内に存在した官舎（校長宿舎）への入居に際して詠んだ漢詩。旧陸軍歩兵第五十連隊の駐屯地であった頃より有名な桜の様子とともに、無事に入居の済んだ安堵感を詠んでいる。

凜



1994（平成6）年

医学部 蔵

『信州大学医学部 50 年史』及び写真集『四季の舞・追憶の詩』刊行に当たり揮毫された書。長野市在住の書家、川村龍洲（かわむらりゅうしゅう）による。医学部を漢字一文字でイメージしてほしいとの依頼により、「凜」を選んだという。

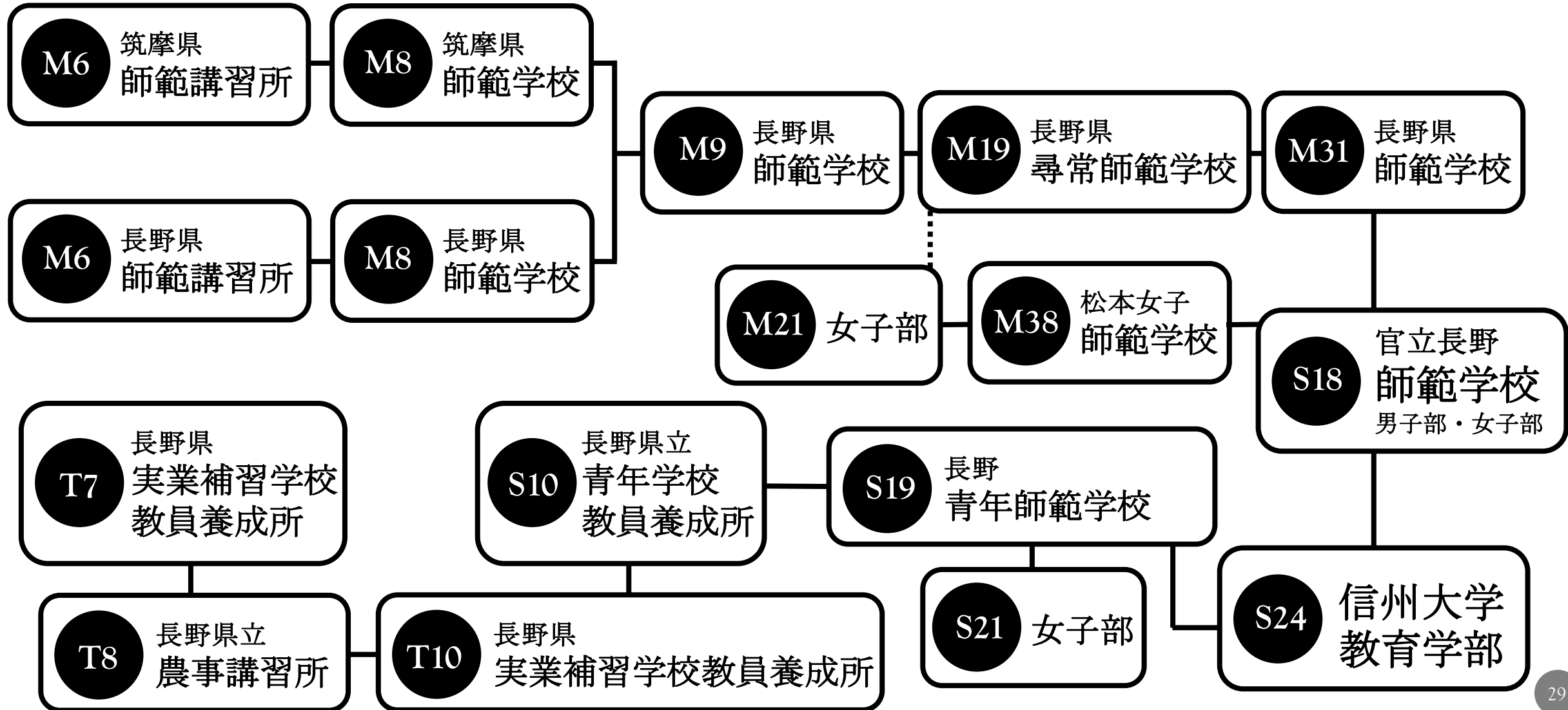
第2章 長野（教育）キャンパス

現在、長野（教育）キャンパスには教育学部があります。この地には、1908（明治41）年まで、「長野県庁」と「長野県師範学校」が隣接していました。同年5月～6月、立て続けに起こった火災によりいずれも焼失し、師範学校は再建されましたが、県庁は移転することとなります。その後、師範学校は1949（昭和24）年の信州大学設立時に「教育学部」となり、現在に至ります。

長野（教育）キャンパス



教育学部 沿革



教育学部 年表 ①

1873
(M6)

旧長野県師範講習所・旧筑摩県師範講習所開設
(のちの官立長野師範学校男子部・女子部)

1918
(T7)

長野県実業補修学校教員養成所開設 (のちの長野青年師範学校および女子部)

1949
(S24)

信州大学 (新制) 発足
官立長野師範学校および長野青年師範学校が統合し、教育学部設置
(長野本校・松本分校)

1951
(S26)

附属長野小学校、松本小学校、長野中学校、松本中学校設置

1966
(S41)

松本分校廃止、附属志賀自然教育研究施設設置

1967
(S42)

養護学校教員養成課程設置、附属幼稚園設置

1973
(S48)

幼稚園教員養成課程設置

1974
(S49)

附属教育工学センター設置

1975
(S50)

附属養護学校設置

1991
(H3)

大学院教育学研究科（修士課程）設置

1992
(H4)

附属教育実践研究指導センター設置

1995
(H7)

生涯スポーツ課程設置

1999
(H11)

学校教育教員養成課程に改組、
教育カウンセリング課程設置附属教育実践研究指導センター設置

2008
(H20)

養護学校教員養成課程を特別支援学校教員養成課程に改称

2012
(H24)

講座の増設と再編成（言語、社会科学、数学、理科、技術、家庭科、
音楽、美術、スポーツ科学、教育科学、特別支援）

長野県師範学校学友会蔵書



明治初期

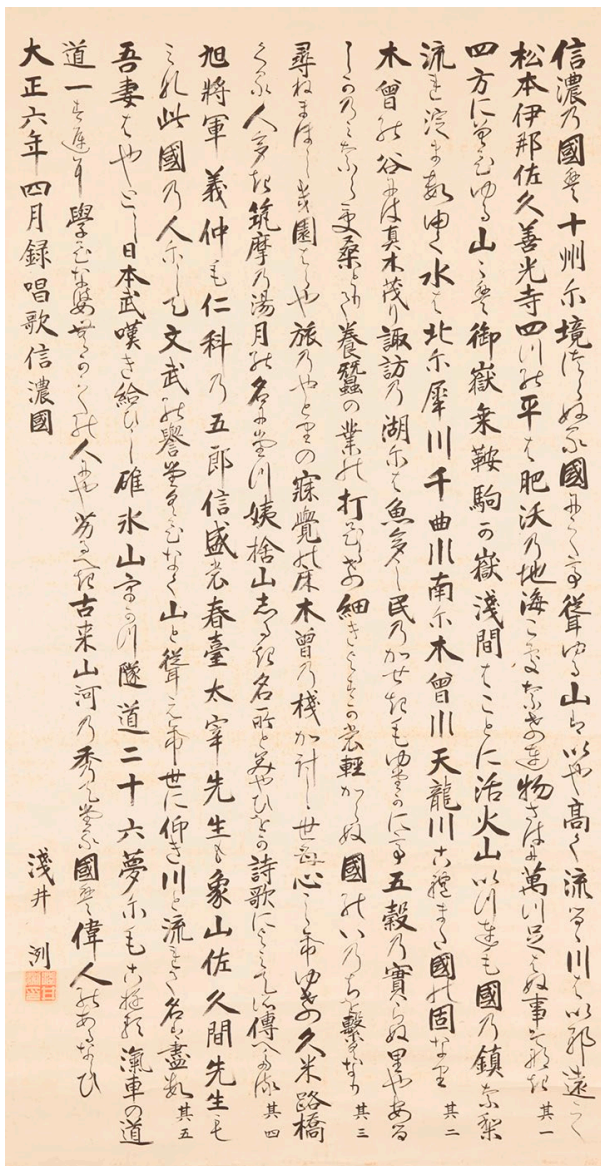
教育学部 蔵

長野県師範学校から教育学部へと引き継がれた約 18,000 冊のうち、「学友会」が収集したもの。学生自らが資金を出し合って購入したこれらの書籍には、「長野県師範学校学友会図書部蔵書印」などの蔵書印がみられ、一部が赤く塗られているのが特徴。約 800 冊。教育学をはじめ、言語・歴史・地理・哲学・美術など、幅広い書籍がある。

信濃國

1917 (大正6) 年
教育学部 蔵

長野県歌に指定されている「信濃の国」の作詞者、浅井洌 [れつ／きよし] 直筆の書。長野県師範学校 (教育学部の前身) 教員であった浅井と北村季晴 [すえはる] (作曲) による「信濃の国」は1900 (明治33) 年に発表され、師範学校から巣立った教員たちが県内各地の学校で教えたことによって広く普及した。



第3章 長野（工学）キャンパス

現在、長野（工学）キャンパスには工学部があります。かつてこの地には、「長野工業試験場」がありました。1944（昭和19）年、試験場の移転に伴い、長野市岡田にあった「長野工業高等学校」（1943年設立）は、「長野工業専門学校」に改組・移転し、試験場建物を校舎としました。その後、工業専門学校は1949（昭和24）年の信州大学設立時に「工学部」となり、現在に至ります。

長野（工学）キャンパス



工学部 沿革

S18 長野高等工業学校

S19 長野工業専門学校

S24 信州大学工学部

工学部 年表 ①

1943
(S18)

長野高等工業学校創立

1944
(S19)

長野工業専門学校と改称

1949
(S24)

信州大学（新制）発足
工学部設置（機械工学、電気工学、通信工学、土木工学の4学科）

1959
(S34)

工業化学科、工学専攻科設置

1962
(S37)

精密工学科設置

1967
(S42)

大学院工学研究科修士課程設置

1968
(S43)

合成化学科設置

1970
(S45)

通信工学科を電子工学科に改組

1974
(S49)

情報工学科設置

工学部年表②

1981
(S56)

建築工学科設置

1989
(H1)

工学部改組

(生産システム工学、電気電子工学、社会開発工学、物質工学、情報工学の5学科)

1991
(H3)

大学院工学系研究科博士課程新設改組

1998
(H10)

環境機能工学科設置

2008
(H20)

社会開発工学科を土木工学科と建築学科に改組

2012
(H24)

大学院理工学研究科修士課程新設改組

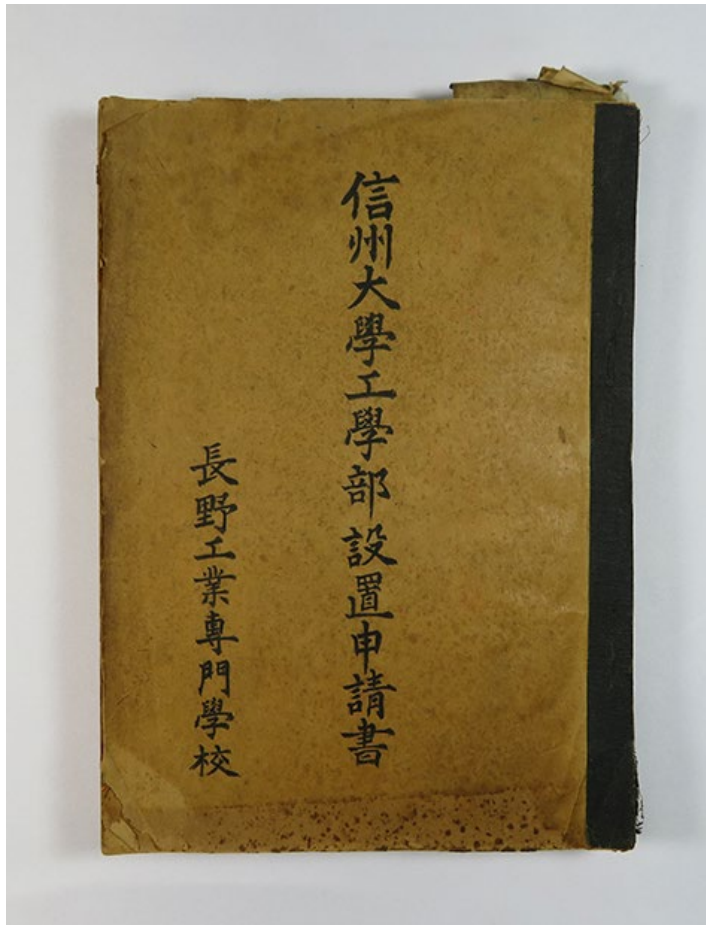
2016
(H28)

・工学部改組

(物質化学、電子情報システム工学、水環境・土木工学、機械システム工学・建築学の5学科)

・大学院総合理工学研究科修士課程工学専攻新設改組

信州大学工学部設置申請書



1948（昭和23）年

工学部 蔵

信州大学工学部の新設時に作成された文書一式。設置要綱や学則、校地の図面をはじめ、講座の構成や履修方法等、現在の工学部の礎となる規範が記されている。特に設置要綱からは、「工業に関する地方的学術の中心」として、信州の地域特性をふまえて社会の発展に寄与する自負がうかがえる。

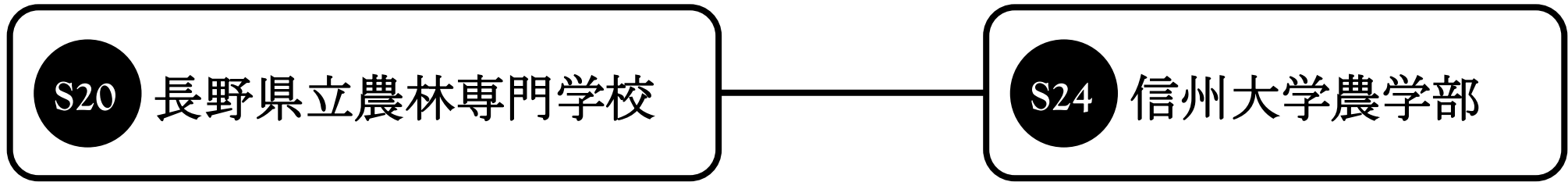
第4章 伊那キャンパス

現在、伊那キャンパスには農学部があります。農学部の前身である「長野県立農林専門学校」は、1945（昭和20）年、「上伊那農業学校」（現上伊那農業高等学校）へ併設されて開校しました。現在農学部のある場所に校舎などの施設が整えられて移転したのは、1947（昭和22）年です。その後、1949（昭和24）年の信州大学設立時に「農学部」となり、現在に至ります。

伊那キャンパス



農学部 沿革



農学部年表①

1945
(S20)

長野県立農林専門学校設立許可 同校開校

1949
(S24)

信州大学（新制） 発足、農学部設置

1950
(S25)

附属農場、附属演習林設置

1952
(S27)

長野県農林専門学校廃止

1958
(S33)

農学専攻科（農学、林学の専攻）

1960
(S35)

畜産学科増設

1964
(S39)

農学専攻科設置

1965
(S40)

森林工学科増設

1967
(S42)

農学科を改組拡充し園芸農学科に改称、農芸化学科増設

農学部年表②

1969
(S44)

農学専攻科（森林工学専攻）増設

1972
(S47)

大学院農学研究科修士課程設置

1973
(S48)

農学専攻科廃止

1988
(S63)

園芸農学科、林学科、畜産学科、森林工学科、農芸化学科を
生物生産学科、森林科学科、生物資源科学科に改組

1992
(H4)

大学院農学研究科修士課程の園芸農学専攻、林学専攻、畜産学専攻、森林工学専攻、
農芸化学専攻を生物生産学専攻、森林科学専攻、生物資源科学専攻に改組

1997
(H9)

学部改組

1999
(H11)

附属農場・演習林事務部の廃止

2001
(H13)

大学院農学研究科修士課程、生物生産科学専攻・森林科学専攻・生物資源科学専攻を
食料生産科学専攻・森林科学科専攻・応用生命科学専攻に改組、機能性食料開発学専攻を設置

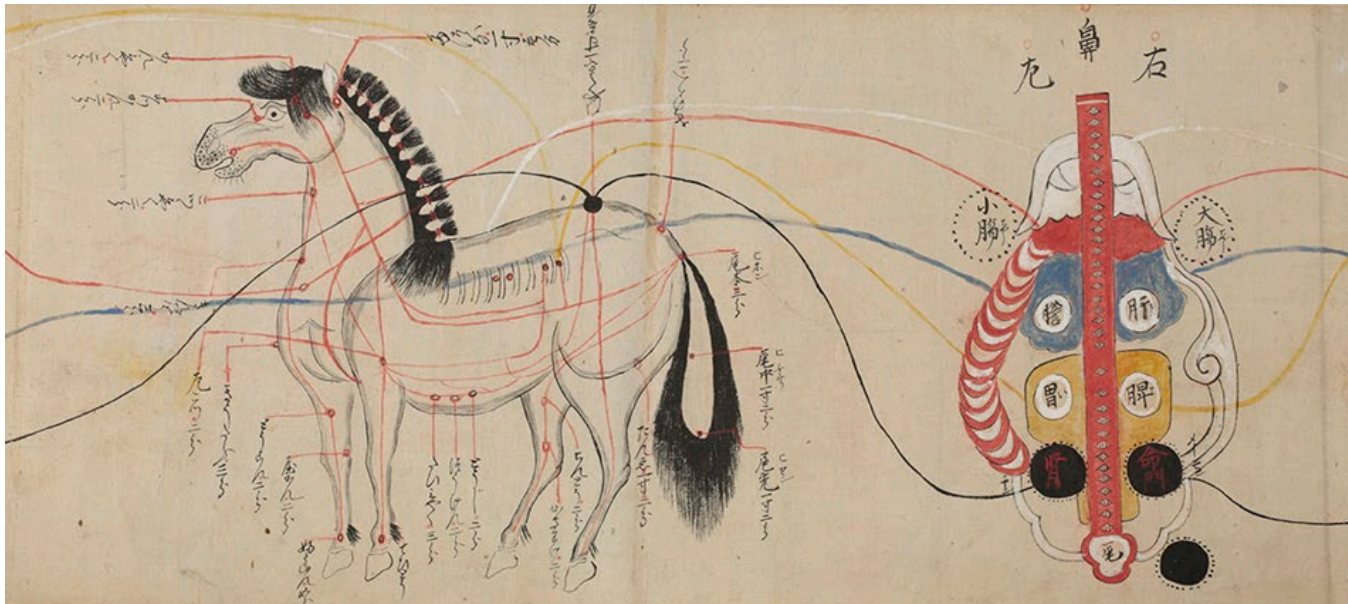
2002
(H14)

附属農場、附属演習林及び附属高冷地農業実験実習施設を
附属アルプス圏フィールド科学教育センターに改組

農学部年表 ③

- 2005 (H17) 大学院工学系研究科を大学院総合工学系研究科に改組
- 2006 (H18) 食料保健機能開発研究センター設置
- 2007 (H19) 食と緑の科学資料館設置
- 2008 (H20) 野生動物対策センター設置
- 2011 (H23) 近未来農林総合科学教育研究センター設置
- 2013 (H25) 附属AFC野辺山ステーションが教育関係共同利用拠点に
- 2015 (H27) 学部改組、伊那キャンパスに名称変更
- 2016 (H28) 大学院理工学系研究科と農学研究科を統合再編し、大学院総合理工学研究科に改組
- 2017 (H29) 大学院総合工学系研究科と大学院医学系研究科を組織改編し、大学院総合医理工学研究科を設置

安西流馬医巻物



1710（永宝7）年

農学部図書館 蔵

仏教と陰陽五行説を基本思想とした馬医学書。1579（天正7）年、馬医学に通じた故実家の安西播磨守によって著されたものの写本。入門者のために、馬体解剖図、季節による馬の病気、針治療法、馬医学修得の心構えなどが記されている。1974（昭和49）年、駒ヶ根市の笹古家から信州大学農学部へ寄贈された。

第5章 上田キャンパス

現在、上田キャンパスには繊維学部があります。1910（明治43）年、この地に官立の「上田蚕糸専門学校」が設立されました。元々蚕糸業が盛んな土地であることや、地域の誘致活動により、上田の地が選ばれました。その後、1944（昭和19）年に「上田繊維専門学校」と改称し、1949（昭和24）年の信州大学設立時に「繊維学部」となり、現在に至ります。

上田キャンパス



繊維学部 沿革

M43 上田蚕糸専門学校

S19 上田繊維専門学校

S24 信州大学繊維学部

繊維学部年表 ①

- 1910 (M43) 上田蚕糸専門学校設立
- 1944 (S19) 上田繊維専門学校と改称
- 1949 (S24) 繊維学部（養蚕学科・紡織学科・繊維化学科）
- 1950 (S25) 繊維学部附属農場設置
- 1951 (S26) 蚕糸別科を設置
- 1954 (S29) 繊維学専攻科設置
- 1961 (S36) 繊維機械学科設置、養蚕学科を繊維農学科に、紡織学科を紡織工学科に、繊維科学科を繊維工業科学科に改称、専攻科の専攻名もあわせて改称、蚕糸別科廃止
- 1964 (S39) 繊維学研究科設置
- 1965 (S40) 繊維機械学専攻設置

繊維学部 年表 ②

1966 (S41) 附属高分子工業研究施設設置, 紡織工学科を繊維工学科に改称

1967 (S42) 繊維化学工学専攻設置

1974 (S49) 機能高分子学科設置

1985 (S60) 繊維農学科を応用生物学科に改組

1986 (S61) 繊維工学科を繊維システム工学科に、繊維機械学科を機能機械学科に改組

1987 (S62) 繊維化学工学科を精密素材工学科に改組

1988 (S63) 繊維工業化学科を素材開発化学科に改組

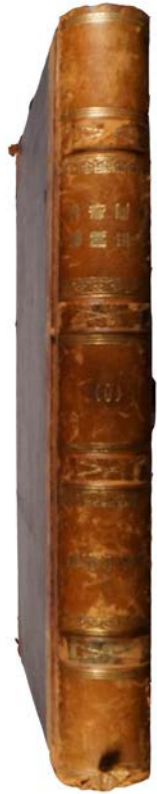
1991 (H3) 工学研究科及び繊維学研究科を転換改組し、工学系研究科設置

2008 (H20) 7学科体制から3系9課程体制へ改組

繊維学部 年表 ③

- 2010
(H22) 創立100周年記念式典挙行
- 2012
(H24) 4系9課程に再編
- 2014
(H26) 繊維学部附属高分子工業研究施設閉所、
先鋭領域融合研究群国際ファイバー工学研究所を開所
- 2016
(H28) 4系9課程を4学科に改組
(先進繊維・感性工学科、機会・ロボット学科、化学・材料学科、応用生物科学科)
【修士課程】理工学系研究科を総合理工学研究科に改組
- 2018
(H30) 【博士課程】
総合工学系研究科と医学系研究科を転換改組し、総合医理工学研究科を設置

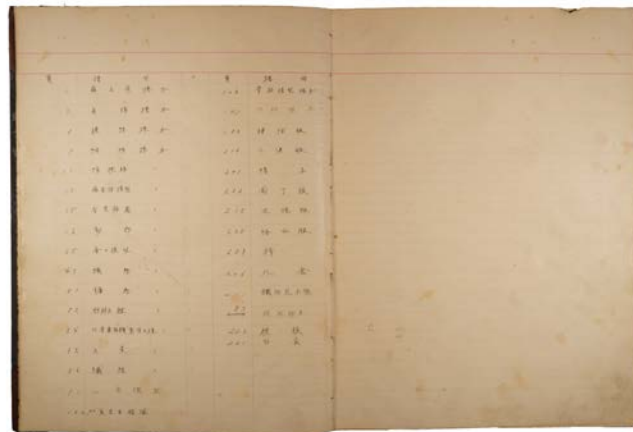
出納帳



背表紙



表紙



本紙

1910～1953（明治43～昭和28）年
繊維学部 蔵

上田蚕糸専門学校（繊維学部の前
身）で使用されていた、金銭の収
支を記録するための帳簿。1910（明
治43）年の開校時、様々な繭や
蚕の標本を購入したことが、見開
き3ページにわたって記されてい
る。他に、蚕糸関連の図書や実験
データの記録用紙、「駱駝毛」や「山
羊毛」などの繊維標本も購入して
いることがわかる。

開校式記念繪葉書



1913（大正2）年

繊維学部 蔵

上田蚕糸専門学校（繊維学部の前身）の開校式を記念して作られた繪葉書。上の繪葉書では、手前に桑畑が広がる様子と、中央には製糸工場の煙突が描かれ、養蚕や製糸に関する実習を行っていた開校当時の様子がうかがえる。右端には、現在も繊維学部資料館として活用されている貯繭庫（登録有形文化財）が描かれている。

思い出アルバム 1

信州大学設立後の学生生活の様子を
うかがうことができるとともに、写真を集めました
いづれも1970年代の日常の風景です



思い出アルバム 2

信州大学設立後の学生生活の様子を
うかがうことができ写真を集めました
いずれも1970年代の日常の風景です



コラム①

「信州大学」 誕生秘話

信州大学

新制国立大学69校のひとつとして

1949（昭和24）年6月1日

県下の高等教育機関7校を集めて開学

文部省の方針

- ① 1県1大学
- ② 名称は原則として都道府県名を用いる

それでは
なぜ長野大学ではなく
「信州」大学なの？



「長野県」の名の由来

- 1871（明治4）年7月-12月 廃藩置県（全国3府72県）

信濃国の北東部 → 長野県
 （県庁を長野村（現長野市長野）に設置）

信濃国の中南部 } → 筑摩県
 飛騨国 }
 （県庁を筑摩郡北深志町（現松本市）に設置）

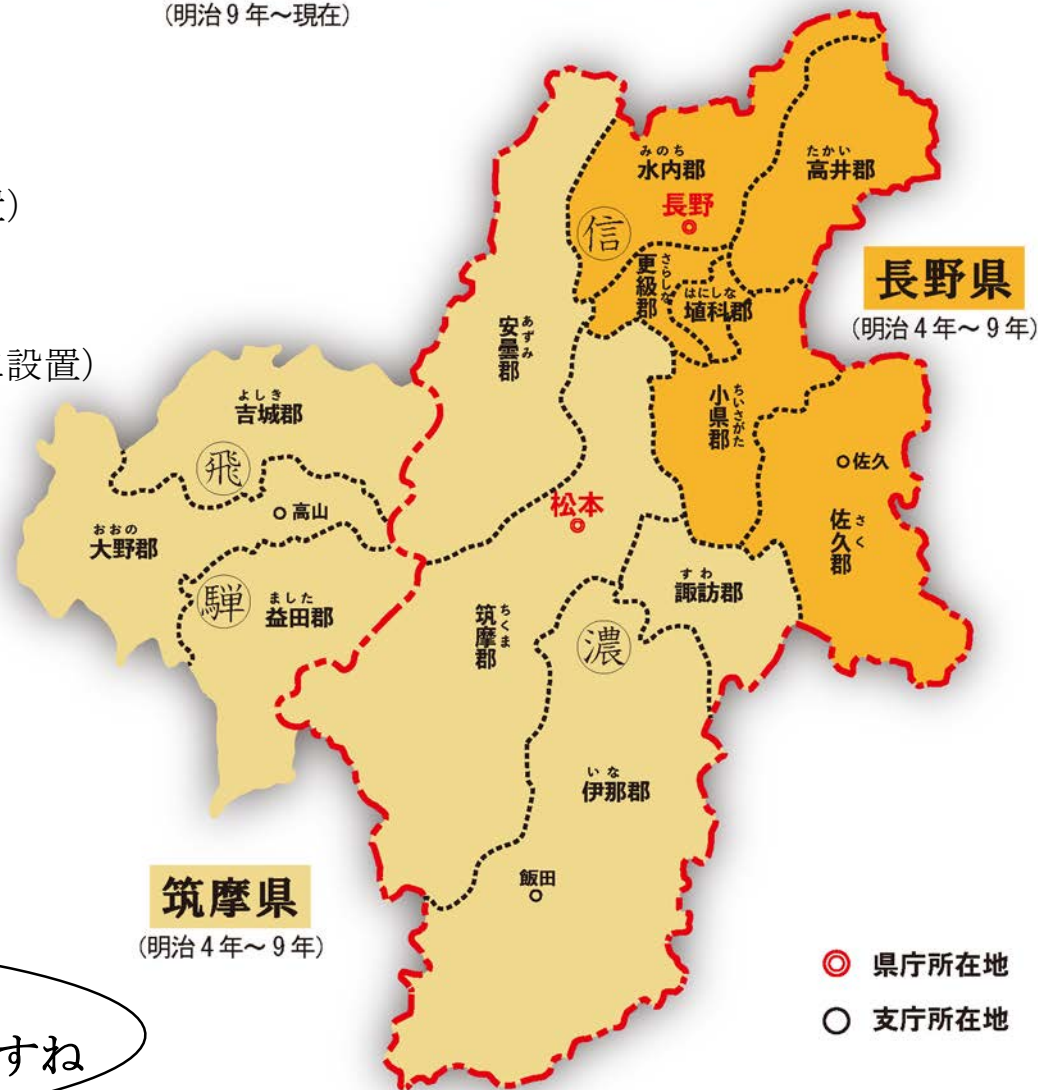
- 1876（明治9）年8月 県の再統合（全国3府35県）

長野県 } 合併＝現在の長野県が誕生
 筑摩県（除飛騨） }

☞ 特に中南信の人々にとって
 「長野」は帰属意識の低い地名

「長野」という呼称は信濃国全体を表す地名として県民にすぐには浸透しなかったのですね

--- 現在の長野県の領域 ≡ 信濃国の領域
 (明治9年～現在)



コラム②

しなののくに
唱歌「信濃國」

「信濃の国は十州に～♪」
と始まる長野県の県歌。
信州大学の成り立ちに関わりが
あることを知っていますか？



長野県師範学校
(教育学部前身校) 教員

あさいれつ
♪ 作詞 浅井 洌
きたむら すえはる
♪ 作曲 北村 季晴

☞ 1900 (明治33) 年 発表
1968 (昭和43) 年 県歌に制定

☞ 歌詞には長野県各地の地理、風土、著名人物
などがバランスよく散りばめられています

師範学校は教員を育てる学校。
そこから巣立った先生たちが
県内各地の学校で教え伝えたから
広く普及したんですね！



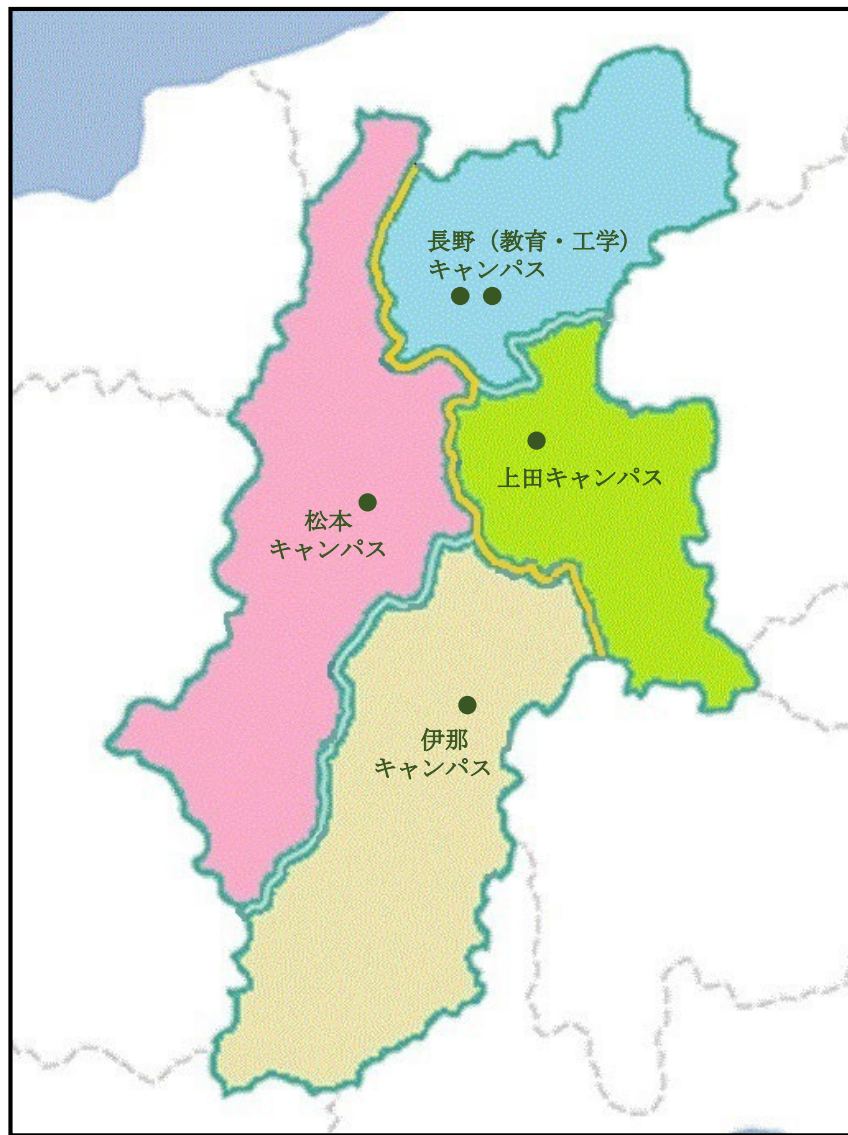
信濃乃國乎十州尔境はくぬふ國あはくさ聳ゆる山はひや高く流る川はひや遠く
松本伊那佐久善光寺四州平く肥沃乃地海はくさたき物さは萬川是れ事なり共一
四方にまむゆも山も御嶽乘鞍駒の嶽浅間てことに活火山はひやまも國乃鎮ふ乘
流も淡もぬゆく水も北尔犀川千曲川南尔木曾川天龍川は龍なる國に固かた
木曾の谷は其本茂り諏訪の湖も魚多し民乃かせれもゆきはに五穀乃實れりある
一乃のりもさし更桑もゆ養蠶の業は打むる細きも老輕かぬ國はいろは繋ぎなり其三
尋ねまほしき園も也旅もやとまの寐覺れ床木曾の棧か計し世心も市ゆめ久米路橋
くふ人な多し筑摩乃湯月名も雪川猿橋山志乃名所も名物も詩歌に傳へる其四
旭將軍義仲も仁科乃五郎信盛老春臺太宰先生も象山佐久間先生も
これ此國乃人なり文武は譽をさかす山は聳る市に仰き川は流るる名も盡れ其五
吾妻も也こ日本武曠き給ひ碓氷山字の川隧道二十六夢ももは流るる道
道一も是なり學むは處なりこ人なり也乃古来山河乃秀るる國を偉人なりあひひ

浅井 洌

浅井洌書「信濃國」1917 (大正6) 年
教育学部図書館 蔵

コラム③

県内に点在するキャンパス



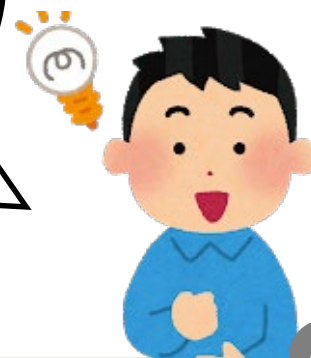
長野県（信州＝信濃国）の地図

☞長野県は主な平地が山々で隔てられた4つの地域（北信、東信、中信、南信）に大きく区分されています

地域ごとに歴史、文化、気候風土、人々の気質もそれぞれです

- 北信エリア・・・工学部、教育学部
- 東信エリア・・・繊維学部
- 中信エリア・・・人文・経法・理・医学部
- 南信エリア・・・農学部

信州大学を構成する全8学部。
現在の学部の所在地はそれぞれの「前身校」が位置していた場所に由来しているから
現在でも5つのキャンパスが点在しているのですね。



信州大学大学史資料センターについて

大学史資料センターでは、信州大学の歴史を将来に伝えていくために本学に関する資料を収集しています。皆様がお持ちの資料をぜひご提供ください。

◎資料提供の手続きにつきましては、[大学史資料センターのホームページ](#)をご覧ください。

ご提供
いただいた
資料の一部



大学祭パンフレット



講義ノート



教科書



スナップ写真



募集要項・受験票



バツクル・徽章



卒業証書



課題レポート



演劇ポスター



アルバム



学生新聞

2020年4月末時点で3600点を超える資料をご寄贈いただきました。
ご提供いただきました方々に、厚く御礼を申し上げます。